

重症肝損傷の治療方法と転帰に関する研究

1. 研究の対象

平成 26 年 4 月～平成 28 年 3 月に当院で肝損傷治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

【研究目的】

重症肝損傷の治療に関して、米国のデータの多くは鋭的外傷が中心で、本邦において大多数を占める鈍的肝外傷に関する症例数の多い研究はない。最近、重症肝損傷では、経カテーテル的動脈塞栓術が施行されることも多く、また手術ではダメージコントロール手術を施行するケースが多い。しかし、本邦において、どの治療が選択されているのかは不明であるし、治療の選択に関しては意見の一致をみていない。本研究の目的は、鈍的外力に起因する重症肝損傷の治療選択因子と死亡に関与する因子を検討することである。

【方法】

平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日までの 2 年間の済生会多施設重症肝損傷患者の DPC データ、レセプトデータ内の肝損傷レセプトデータ及び日本外傷データベース（JTDB）の肝損傷データ中心とした後ろ向き観察・研究

3. 研究に用いる試料・情報の種類

【情報】

年齢、性別、入院時併存症、血圧、心拍数、病名、手術名（術式）、輸血量、入院期間、合併症、転帰 等

4. 外部への試料・情報の提供

済生会横浜市東部病院へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

済生会横浜市東部病院 北野光秀

済生会宇都宮病院

済生会千里病院

済生会熊本病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号

済生会熊本病院 医事室 瀬口祐樹

電話番号：096-351-8000

研究責任者：

済生会熊本病院 救急総合診療センター救急科部長 前原潤一

研究代表者：

済生会横浜市東部病院 院長補佐 北野光秀

以上